

平成29年11月吉日

## 報道各位

日本書道ユネスコ登録推進協議会  
会長 荒船清彦

謹啓

向寒の候、御社におかれましてはますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

「日本の書道文化」のユネスコ無形文化遺産登録の推進運動に際しまして、平素よりご支援ご協力を賜わり、心より御礼を申し上げます。

このたび当協議会は、登録推進運動の一環として、今年12月21日から来年1月9日までの20日間、成田国際空港内のNAAアートギャラリーにおいて、「日本の書道文化展」を開催する運びとなりました。

今年2月16日から26日の11日間、大阪・関西国際空港内のKIXギャラリーにおいても同展を開催いたしました。地域を替えての第2弾となります。

これまで、登録推進運動を支援する団体様からの賛同団体署名、文化庁への要望書・署名用紙の提出、ポスターやバナー掲示による全国規模での広報活動などの運動を進めてまいりました。このような書道界を始めとする皆様のご支援、地道なご協力のおかげで、平成29年2月22日、文化庁文化財部は、今後文化財保護法上の文化財に加えて、これまで明確な対象としてこなかった茶道や華道、書道、和装、盆栽などの生活文化にかかる案件についても提案対象とすることを検討すべきであると発表しました。これは、登録を目指す道のりにおいて、大変大きな前進であると考えます。

当協議会では、これからもこの登録運動をより広く多くの人々に知ってもらい、底辺を広げて無形文化遺産登録に繋げていくために、美術館だけではなく、日頃書道文化になじみのない人が多く集う空港などの場所における運動も積極的に取り組む所存です。

報道各社の皆様には、日本の伝統文化の保護継承運動の一助として、是非とも当展示会の模様を報道していただければ幸甚でございます。

詳細は別紙にしてご案内をしております。何とぞお取り計らいますよう、よろしく願い申し上げます。

敬白

## ご 案 内

**日本書道ユネスコ登録推進協議会は、成田国際空港で  
「日本の書道文化展」を開催いたします。**

**つなごう日本の書道文化 ユネスコの無形文化遺産に**

**Promote Japanese *Shodo* Culture as UNESCO's Intangible Cultural Heritage !**

IT文化の飛躍的な進化により便利になった一方で、手書き文字、特に毛筆文字が人々の生活から急速に消え始めています。文字を手で書かない生活になってから、文字の形がうまく整わない、簡単な漢字でも書けない、筆順がわからない、誰もがそんな経験をお持ちではないでしょうか。

皆が経験のある学校の授業や書道塾で学ぶ習字も、お正月の書き初めや年賀状の筆書きも、冠婚葬祭で使うのし紙、のし袋、芳名帳の筆書きも、国民生活に根付き、受け継がれる大切な文化です。

日本書道ユネスコ登録推進協議会を中心とする日本の書道界では、これらの状況を踏まえ、貴重な書道文化の保護継承のために、ユネスコの無形文化遺産登録を目指して、今一丸となって推進運動に取り組んでいます。

今回開催される成田国際空港での「日本の書道文化展」は、関西国際空港に続き、第2弾として実施いたします。成田国際空港は年間旅客数約3,905万人(2016年度データ)、展覧会を行う12月の月間旅客数は約322万人(2016年12月データ、国内線約57万人、国際線約264万人)、1月の月間旅客数は約333万人(2017年1月データ、国内線約58万人、国際線約275万人)と、たくさんの日本人、外国人が空港内を行き交います。毛筆文化に馴染みのない方々にも、旅の合間のちょっとした時間に、「日本の書道文化」の素晴らしさを見てもらいたい、知ってもらいたい、その思いで日本最高峰の書家の作品を展示することにいたしました。

日本の伝統的な書道文化をどうしたら次世代へと残せるのか、考える時期が来ています。無形文化遺産に登録するには、子どもから大人まで全国各地で幅広く文化を広げ、定着させていくことが必要です。

我々協議会は、今後もこのような運動を地道に進めてまいります。この展覧会をご覧のたくさんの方々に、運動の趣旨をご理解いただき、応援していただければ幸いです。

平成29年11月吉日

日本書道ユネスコ登録推進協議会

Council for the Promotion of Japanese Shodo's Inscription on  
UNESCO's Intangible Cultural Heritage List

## 「日本の書道文化展」 展覧会概要

- 展覧会名 日本書道文化展
- 主催 日本書道ユネスコ登録推進協議会
- 特別協力 東洋額装株式会社
- 会期 2017（平成29）年12月21日（木）～2018（平成30）年1月9日（火）  
20日間開催
- 開場時間 6：00～22：00 ※ ただし、最終日1月9日（火）は15：00で終了  
※ 開場時間すべてに職員が常勤しているわけではありません。取材等でお問い合わせが必要な場合には、日本書道ユネスコ登録推進協議会東京事務局までご連絡ください。
- 会場 成田国際空港 NAAアートギャラリー（第1ターミナル 中央ビル 5階）  
※ 空港内という場所柄、オープニングセレモニー等はありません。
- 出品作品 日本書道ユネスコ登録推進協議会の役員16名による  
日本芸術院会員、日本芸術院賞受賞者の作品など、日本最高峰書家の作品16点を展示
- 出品作家 ※ 肩書は2017（平成29）年11月現在  
井茂圭洞（日本芸術院会員／日展副理事長／京都教育大学名誉教授／読売書法会最高顧問）  
津金孝邦（恩賜賞・日本芸術院賞受賞／日展会員／読売書法会顧問）  
樽本樹邨（日本芸術院賞受賞／日展会員／読売書法会常任総務）  
星 弘道（日本芸術院賞受賞／日展理事／読売書法会常任総務）  
石飛博光（日展会員／毎日書道会理事）  
大井錦亭（日展会員／毎日書道会常任顧問）  
田中鳳柳（産経国際書会最高顧問）  
吉川蕉仙（日展会員／読売書法会常任理事）  
黒田賢一（日本芸術院賞受賞／日展理事／読売書法会常任総務）  
高木聖雨（恩賜賞・日本芸術院賞受賞／日展会員／大東文化大学教授／読売書法会常任総務）  
清水透石（日展会員／読売書法会参事）  
田中節山（日展会員／大東文化大学名誉教授／読売書法会常任理事）  
仲川恭司（専修大学名誉教授／毎日書道会理事）  
辻元大雲（毎日書道会理事） ※「つじ」のしんにようは一点つじ  
長野竹軒（東京学芸大学名誉教授／毎日書道展審査会員）  
舟尾圭碩（日展会員／読売書法会常任理事）
- 入場料 空港利用者に無料で一般公開
- ワークショップ  
日時 2017（平成29）年12月28日（木）、12月29日（金）の2日間  
11～17時に実施  
場所 成田国際空港 NAAアートギャラリー内  
対象 国内外への旅客者、空港施設利用者、空港勤務者を対象に、参加費・材料費とも無料で実施  
内容 「筆と墨で和小物に文字を書いてみよう！」の体験コーナー

●当展覧会の問い合わせ先

日本書道ユネスコ登録推進協議会

E-mail info@shodoisan.jp

http:// www.shodoisan.jp

<東京事務局>

〒107-0052

東京都港区赤坂2-11-1 デルックス溜池山王6階

公益財団法人 全国書美術振興会内

TEL. 03-3568-2071 FAX. 03-3568-2072

事務局長 坂本敏史 (さかもと としふみ)

事務局担当 内海祐子 (うちうみ ゆうこ)

※ 記事使用等でデータを必要とする際は、東京事務局までご一報ください。

<大阪事務局>

〒540-6591

大阪府大阪市中央区大手前1-7-31 OMMビル7階

公益社団法人 日本書芸院内

TEL. 06-6945-4501 FAX. 06-6945-4505

事務局長 松本 薫 (まつもと かおる)

事務局担当 藤井 聡 (ふじい さとし)



日本書道ユネスコ登録推進協議会のポスター

- 「つなごう日本の書道文化 ユネスコの無形文化遺産に」は、登録推進運動のスローガン。
- スローガン中の「書道」の二文字は、和様の書の基礎を築いた三蹟の一人、小野道風による。「書」は宮内庁三の丸尚蔵館所蔵の「屏風土代」、  
「道」は正木美術館所蔵の国宝「三体白氏詩卷」から集字した。
- 朱色で落款、黒の縁で硯を表現している。
- 落款に記された「わ」は日本を象徴する仮名文字（和）であり、伝統文化を次世代へとつなごうという輪の意味も込めている。